

ノーマライゼーションかしわ2024プラン 総論の構成(案)

総論の構成

1. 計画の策定に当たって
2. 計画の位置付けと期間
3. 計画の基本的な考え方
4. 計画の基本的な考え方設定の根拠
5. 障害福祉を取り巻く状況と見通し
6. 計画の推進に向けて

1. 計画の策定に当たって（プラン2021「第1節 計画の策定にあたって」に相当）

【掲載目的】

- 本プラン策定に当たって、これまでの本市の取組を振り返り、プランの方向性を明らかにする。
- 国や県、本市における施策動向を明らかにする。

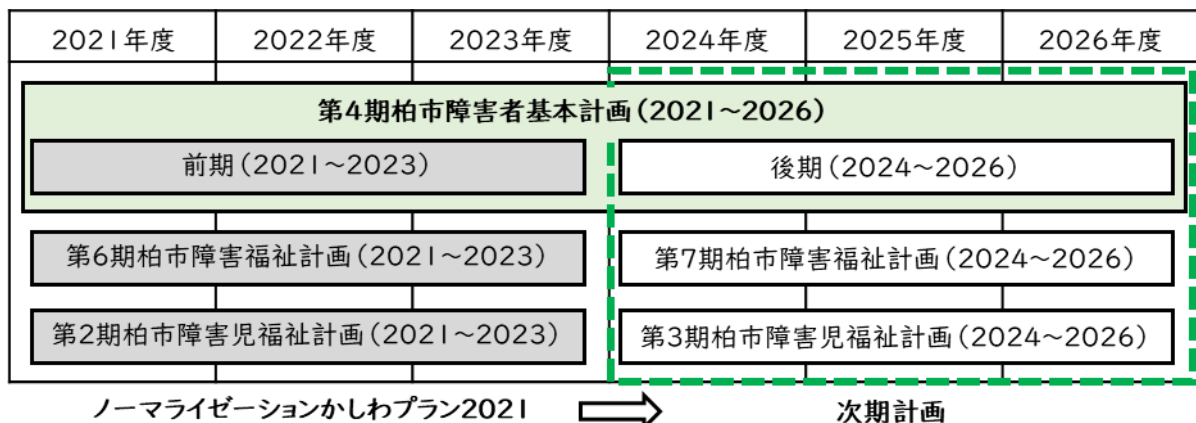
【掲載概要】

- 「みんなでつくる みんなで暮らせるまち かしわ」の基本理念の下、障害の有無にかかわらず地域で暮らせる環境づくりに向けた施策を展開してきた。
- 国における第5次障害者基本計画を始め、国や県において、地域社会における共生を目指した計画や法制度の策定・改正が見られている。
- これまで市域全体において構築してきたネットワークを活用しながら、より地域にフォーカスする形で包括的な支援体制の構築し、地域共生社会の実現を目指す。

2. 計画の位置付けと期間（プラン2021「第2節 計画の位置付けと構成」に相当）

【掲載目的及び掲載概要】

- 本プランに含まれる3つの計画（柏市障害者基本計画、柏市障害福祉計画、柏市障害児福祉計画）の法的な位置づけや計画期間を明らかにする（詳細は下図参照）。
- 柏市第五次総合計画をはじめとした上位計画との関係を示す。



3. 計画の基本的な考え方（プラン 2021「第6節 計画の基本的な考え方」に相当）

【掲載目的】

- 実績や課題を踏まえた新たなプランの全体像を明らかにする。
- 各施策（分野）に共通する基本理念等について、設定の趣旨を明らかにする。

【掲載概要】

- 基本理念、基本方針はプラン 2021 同様とし、共生社会の実現に向けて、協働の促進や地域づくりの推進を目指す内容とする。
- 重点目標は、プラン 2021 で市域全体をターゲットとして推進してきた「かしわネットワーク」を、より小さい単位である「地域」において活用するため、段階的に進める内容に変更する。
- 基本目標はプラン 2021 同様、柏市自立支援協議会専門部会と紐づける形で分野ごとに施策を整理する。
- 重点施策は、市の課題や市民等のニーズ、国や県の動向を踏まえて基本目標ごとに設定する。
- 上記基本理念等を整理した新たなプランの体系図を示す。

〈基本理念〉「みんなでつくる みんなで暮らせるまち かしわ」

〈基本方針〉「共生社会の実現に向けた協働の促進（柱1・3）」

「健やかに安心して暮らせる地域づくりの推進（柱2・4）」

〈重点目標〉障害者の暮らしを支えるかしわネットワークの地域での活用

〈基本目標〉柱1 みんなで守り寄り添う共生のまちづくり

柱2 みんなで支え安心して暮らせる共生のまちづくり

柱3 みんながその人らしく社会参加できる共生のまちづくり

柱4 みんなが健やかに成長できる共生のまちづくり

4. 計画の基本的な考え方設定の根拠

（プラン 2021「第3節 障害福祉を取り巻く状況とニーズ」の一部および「第4節 第3期後期計画の評価と課題」に相当）

【掲載目的】

- 前節の計画の基本的な考え方設定の背景として、施策ごとに現状や課題を整理し、新たなプランにおいて目指す姿を導く。

【掲載概要】

- 施策ごとに、プラン2021の「目指す姿」、令和4年度基礎調査結果及びプラン2021の評価に基づく「現状とニーズ」を示し、それらを踏まえ「課題」を設定し、課題に対応するための新たなプランの方向性を示す。

5. 障害福祉を取り巻く状況と見通し(プラン2021「第3節 障害福祉を取り巻く状況とニーズ」の一部に相当)

【掲載目的】

- 柏市の障害者及び障害福祉に関する状況を明らかにする。あわせて、将来の障害者数を見通す。

【掲載概要】

- 各種統計データから、障害者手帳及び福祉サービス受給者証所持者は増加傾向。扶助費決算額も増加している。(障害者数の将来推計は今後実施する)

6. 計画の推進に向けて(プラン2021「第7節 計画の推進体制」に相当)

【掲載目的】

- 計画の評価・見直しの方法及び評価・進捗管理の体制を明らかにする。

【掲載概要】

- 計画を着実に推進するため、PDCAサイクルにより、点検・評価する。障害者基本計画に新たに指標を設定し、障害福祉計画の成果目標及び活動指標とあわせて進捗管理する。
- 計画の推進にあたって、関係機関等との連携、地域の力の活用を図る。また、評価・進捗管理のため、内部評価に加え、外部評価の実施体制を確保する。